

**FUJIFILM**

# 2012年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2013年1月29日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

本日はお忙しいところお集まりいただき有難うございます。

富士フイルムホールディングス 2012年度第3四半期決算について  
ご説明させていただきます。

**2012年度 第3四半期 決算 概況 (2012年4月~12月)**

- 円高影響による売上減(97億円)、営業利益減(62億円)
- 欧州の景気低迷による需要減(ドキュメント等)
- IT機器市場の需要低迷と、それに伴う市場の在庫調整によるフラットパネルディスプレイ材料の需要減
- スマートフォンの普及の影響によるコンパクトデジタルカメラの需要減
- メディカルシステム・ライフサイエンス事業が好調に推移

**円高影響に加え、長引く欧州の景気低迷による  
需要減など、厳しい事業環境が続き、減収減益**

2

2012年第3四半期は、円高影響により、  
対前年で売上で97億円、営業利益で62億円の影響を受けたことや、  
欧州の景気低迷による需要減などにより、厳しい事業環境となりました。

特にドキュメント事業では欧州の景気低迷影響を大きく受けました。

フラットパネルディスプレイ材料は、  
IT機器市場の需要低迷や、それに伴う市場の在庫調整の影響を受けました。

また、電子映像事業では、  
スマートフォンの普及による、コンパクトデジタルカメラの需要減の影響を受けました。

一方、メディカルシステム・ライフサイエンスなどの事業が堅調でした。

円高影響に加え、長引く欧州の景気低迷による需要減など、厳しい事業環境が続き、  
前年同期比で減収減益となりました。

## 2012年度 第3四半期 業績 (2012年4月~12月)

(単位:億円)

|                           | 2011年度9ヵ月累計      | 2012年度9ヵ月累計      | 対前年度           |
|---------------------------|------------------|------------------|----------------|
| 売上高                       | 16,185<br>100.0% | 16,112<br>100.0% | -73<br>-0.5%   |
| 営業利益                      | 856<br>5.3%      | 654<br>4.1%      | -202<br>-23.6% |
| 税金等調整前<br>四半期純利益          | 577<br>3.6%      | 628<br>3.9%      | 51<br>+8.9%    |
| 当社株主帰属<br>四半期純利益          | 237<br>1.5%      | 288<br>1.8%      | 51<br>+21.7%   |
| 1株当たり<br>当社株主帰属<br>四半期純利益 | 49.19円           | 59.89円           | 10.70円         |
| 為替 :米ドル<br>:ユーロ           | 79円<br>110円      | 80円<br>102円      | 1円安<br>8円高     |

3

2012年度第3四半期の連結売上高は、前年同期比0.5%減の1兆6,112億円、営業利益は、前年同期比23.6%減の654億円となりました。

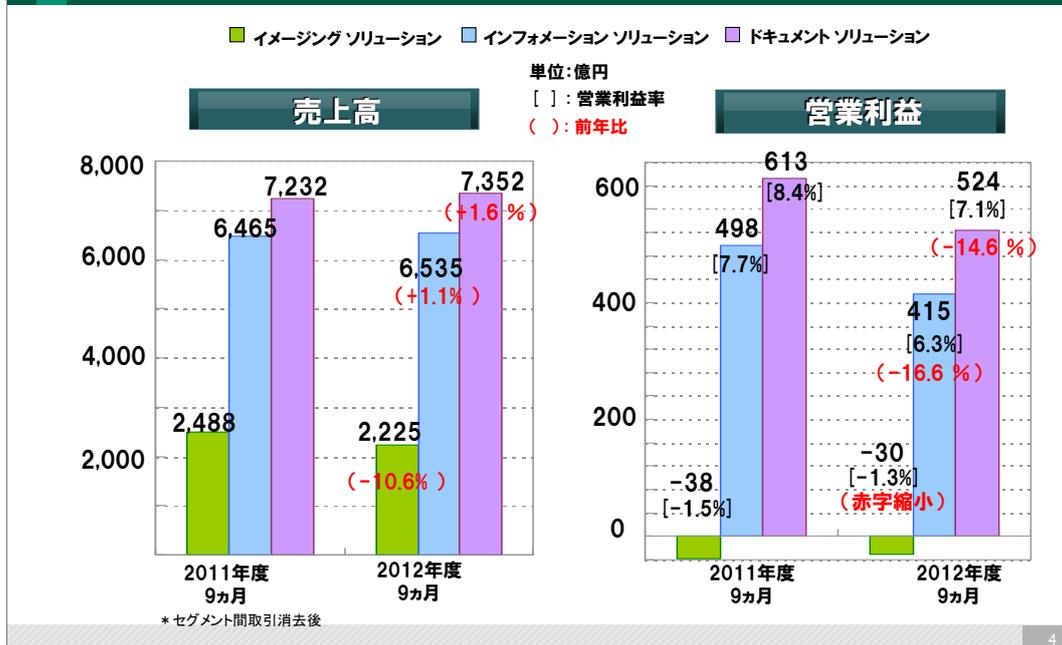
税金等調整前四半期純利益は、

投資有価証券評価損の減少や、為替差損益(純額)がプラスに転じたことなどにより、前年同期比8.9%増の628億円、

当社株主帰属四半期純利益は、前年同期比21.7%増の288億円で、

1株当たりの当社株主帰属四半期純利益は、59円89銭となりました。

## セグメント別:連結売上高/営業利益



続いて、セグメント別の状況についてご説明します。

イメージングソリューション部門の売上高は、前年同期比10.6%減の2,225億円、営業損失は30億円で、赤字幅が縮小しました。

インフォメーションソリューション部門の売上高は、前年同期比1.1%増の6,535億円、営業利益は前年同期比16.6%減の415億円となりました。

ドキュメントソリューション部門の売上高は、前年同期比1.6%増の7,352億円、営業利益は前年同期比14.6%減の524億円となりました。

## セグメント別 概況

### ■ イメージング ソリューション

- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーなどのプリント材料製品の販売が堅調に推移。特にカラーペーパーは、世界各国で他社からの切替が進み販売が好調。
- ・インスタントカメラの販売もアジアを中心に好調。
  
- ・コンパクトデジタルカメラは、総需減の影響により売上が減少したが、Xシリーズを中心とする高級機種の販売が堅調に推移。

減収であったものの、フォトイメージングが好調に推移したことや、コスト削減策により、損益改善

イメージング ソリューション部門では、

フォトイメージング事業でカラーペーパーなどのプリント材料製品の販売が堅調に推移しました。特にカラーペーパーは、世界各国での他社からの切替が進み、販売が好調に推移しました。また、インスタントカメラの販売もアジア中心に好調でした。

一方、電子映像事業では、コンパクトデジタルカメラの売上が総需減の影響により、減少しました。一方でXシリーズを中心とする高級機種の販売が堅調に推移しました。

イメージング ソリューション部門は、減収であったもののフォトイメージングが好調に推移したことや、コスト削減策により、部門全体で損益が改善いたしました。

## セグメント別 概況

### ■ インフォメーション ソリューション

- ・フラットパネルディスプレイ材料は、VA用フィルム・IPS用フィルムや、プレーンタック(60μ、40μ)の販売が好調に推移。一方でIT機器の需要低迷や、在庫調整の影響でWVフィルムの売上が減少し、事業全体でも売上が減少。
- ・メディカルシステムでは、医用画像情報ネットワークシステムや機器などの販売が好調に推移。また携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。医薬品は富山化学や富士フィルムファーマなどの売上が増加。化粧品はリニューアルした「アスタリフト」の販売が好調。
- ・電子材料で引き続き売上が増加。グラフィック、記録メディア、光学デバイスは売上が減少。

メディカルシステム・ライフサイエンス等が好調に推移し、増収を確保したものの、円高影響などにより、減益

6

続いてインフォメーション ソリューション部門です。

フラットパネルディスプレイ材料は、VA用フィルム、IPS用フィルムや、60ミクロンや40ミクロンのプレーンタックの販売が好調に推移しました。一方でIT機器の需要低迷や、在庫調整の影響により、WVフィルムの販売が減少し、全体の売上也減少しました。

メディカルシステム・ライフサイエンスでは、メディカルシステムの医用画像情報ネットワークシステムや機器などの販売が好調に推移したことや、携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により、売上が増加しました。

医薬品は、富山化学や富士フィルムファーマの売上が増加し、化粧品では、リニューアルしたアスタリフトの販売が好調に推移しました。

電子材料事業は、ArF液浸レジストなどの販売が好調で売上が増加しました。

一方、グラフィックシステム、記録メディア、光学デバイスでは売上が減少しました。

インフォメーション ソリューション部門は、メディカル・ライフサイエンス等が好調に推移し増収を確保したものの、為替の円高影響などを受け、全体としては減益となりました。

## セグメント別 概況

### ■ ドキュメント ソリューション

- ・国内、アジア・オセアニア地域のいずれも事業が堅調に推移し、米国ゼロックス向け輸出の不振を補い、全体で売上が増加。
- ・オフィスプロダクトの国内では、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加し、市場における稼働台数及びコピー枚数も増加。
- ・グローバルサービスは、国内、アジア・中国地域ともに2桁の増収。  
また、10月に豪州最大のビジネスサービスプロバイダーからビジネスプロセスアウトソーシング事業を買収したことも、売上の増加に寄与。
- ・米国ゼロックス向け輸出の不振や、商品ミックスの変化等による影響を受け減益。

**増収を確保したものの、欧米市場の低迷、商品ミックスの変化等の影響を受け減益**

7

ドキュメントソリューション部門については、部門全体で、国内、アジア・オセアニア地域のいずれにおいても事業が堅調に推移し、米国ゼロックス向けの輸出の不振を補い、売上が増加しました。

またオフィスプロダクトの国内では、カラー機・モノクロ機ともに販売台数が増加し、市場における稼働台数、及びコピー枚数も増加しました。

またグローバルサービスは、国内、アジア・中国地域ともに売上が2桁成長しました。

また、10月にオーストラリア最大のビジネスサービスプロバイダーから、ビジネスプロセスアウトソーシング事業を買収したことも売上の増加に寄与しました。

ドキュメントソリューション部門は、増収を確保したものの、欧米市場の低迷やローエンド品の販売構成比率が増加したこと等により、減益となりました。

## 連結貸借対照表

(単位:億円)

|                 | 10年度末  | 11年度末  | 12年12月末 | 対11年度末 |              | 10年度末  | 11年度末  | 12年12月末 | 対11年度末 |
|-----------------|--------|--------|---------|--------|--------------|--------|--------|---------|--------|
| 現金及び現金同等物       | 3,131  | 2,351  | 4,279   | 1,928  | 長短社債及び借入金    | 1,896  | 1,989  | 4,183   | 2,194  |
| 受取債権            | 5,022  | 5,565  | 5,373   | -192   | 支払債務         | 2,614  | 2,584  | 2,302   | -282   |
| 棚卸資産            | 3,422  | 3,780  | 4,133   | 353    | その他流動固定負債    | 4,069  | 4,259  | 3,995   | -264   |
| 有価証券<br>その他流動資産 | 1,533  | 1,524  | 1,682   | 158    | 負債計          | 8,579  | 8,832  | 10,480  | 1,648  |
| 流動資産計           | 13,108 | 13,220 | 15,467  | 2,247  | 株主資本計        | 17,225 | 17,218 | 17,882  | 664    |
| 有形固定資産          | 5,641  | 5,539  | 5,423   | -116   | 非支配持分        | 1,284  | 1,347  | 1,465   | 118    |
| 営業権             | 3,444  | 3,935  | 3,997   | 62     | 純資産計         | 18,509 | 18,565 | 19,347  | 782    |
| 投資有価証券<br>その他資産 | 4,895  | 4,703  | 4,940   | 237    | 負債・純資産<br>合計 | 27,088 | 27,397 | 29,827  | 2,430  |
| 固定資産計           | 13,980 | 14,177 | 14,360  | 183    | (単位:円)       |        |        |         |        |
| 資産合計            | 27,088 | 27,397 | 29,827  | 2,430  | 期末日<br>為替レート | 10年度末  | 11年度末  | 12年12月末 | 対11年度末 |
|                 |        |        |         |        | 米ドル          | 83     | 82     | 87      | 5円安    |
|                 |        |        |         |        | ユーロ          | 118    | 110    | 115     | 5円安    |

8

次に、バランスシートについてご説明します。

2012年12月末時点の資産は、

現金及び現金同等物の増加や、企業買収に伴う営業権およびその他の無形固定資産の増加などにより3月末時点と比べ2,430億円増の2兆9,827億円となりました。

負債は、社債及び長期借入金が増加したことなどにより、1,648億円増の1兆480億円となりました。

株主資本は、664億円増の1兆7,882億円となりました。

流動比率は前期末に比べ52.4ポイント増の243.3%、

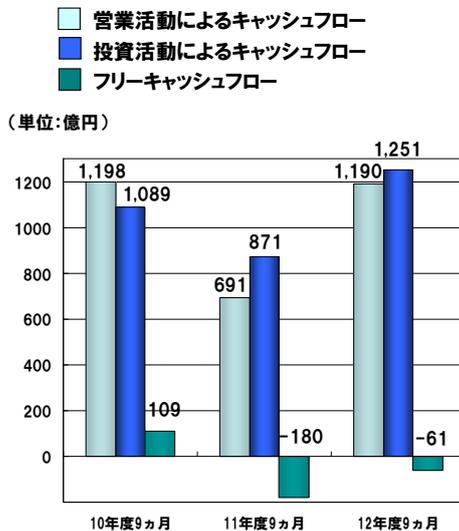
負債比率は7.3ポイント増の58.6%、

株主資本比率は2.8ポイント減の60.0%となり、

資産の流動性及び資本構成の安定性を、ともに維持しております。

## キャッシュフロー

(単位:億円)



|                       | 10年度<br>9ヵ月   | 11年度<br>9ヵ月 | 12年度<br>9ヵ月   |
|-----------------------|---------------|-------------|---------------|
| 四半期純利益                | 647           | 337         | 406           |
| 減価償却費                 | 1,150         | 1,079       | 1,026         |
| 受取債権の増(-)減(+)         | -221          | -160        | 385           |
| 棚卸資産の増(-)減(+)         | -475          | -384        | -178          |
| 営業債務の増(+)-減(-)        | -61           | -183        | -308          |
| 未払法人税等他負債の増(+)-減(-)   | -119          | -252        | -307          |
| その他                   | 277           | 254         | 166           |
| <b>営業活動によるCF</b>      | <b>1,198</b>  | <b>691</b>  | <b>1,190</b>  |
| 設備投資                  | -673          | -742        | -669          |
| ソフトウェアの購入             | -124          | -143        | -132          |
| 有価証券・投資有価証券等の売却・購入    | -67           | 222         | 95            |
| その他                   | -225          | -208        | -545          |
| <b>投資活動によるCF</b>      | <b>-1,089</b> | <b>-871</b> | <b>-1,251</b> |
| <b>フリーキャッシュフロー</b>    | <b>109</b>    | <b>-180</b> | <b>-61</b>    |
| <b>営業活動によるCF+設備投資</b> | <b>525</b>    | <b>-51</b>  | <b>521</b>    |

続いて、キャッシュフローについてご説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,190億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う有形固定資産の購入や事業買収に伴う支出などにより、1,251億円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、61億円のマイナスとなりました。

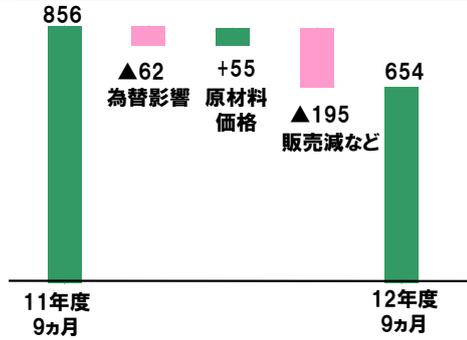
以上で2012年度第3四半期決算の説明とさせていただきます。

続きまして、社長の中嶋より2012年度通期見通しおよび今後の施策についてご説明いたします。

2012年度 第3四半期 決算説明会

## 参考資料

## 営業利益 増減要因



(単位:億円)

| 2011年度<br>9ヵ月 | 2012年度 9ヵ月 |           |            | 実績  |
|---------------|------------|-----------|------------|-----|
|               | 為替<br>影響   | 原材料<br>価格 | 販売増減<br>など |     |
| 856           | ▲62        | +55       | ▲195       | 654 |

|            | 2011年度9ヵ月 (平均) | 2012年度9ヵ月(平均) | 対前年度                 |
|------------|----------------|---------------|----------------------|
| <b>為替</b>  |                |               |                      |
| 米ドル        | 79円            | 80円           | 1円安 (1.3%安)          |
| ユーロ        | 110円           | 102円          | 8円高 (7.3%高)          |
| <b>原材料</b> |                |               |                      |
| 銀          | 92,000円/Kg     | 78,000円/Kg    | ▲14,000円/Kg (▲15.2%) |

12

< 当スライドは配付資料です >

## 3Q/9ヶ月累計 業績

(単位:億円)

| 売上高               | 2011年度 |        | 2012年度 |        | 対前年度(9ヵ月)     |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|---------------|
|                   | 3Q     | 9ヵ月    | 3Q     | 9ヵ月    |               |
| イメージング ソリューション    | 864    | 2,488  | 799    | 2,225  | -263 (-10.6%) |
| インフォメーション ソリューション | 2,116  | 6,465  | 2,246  | 6,535  | 70 (+1.1%)    |
| ドキュメント ソリューション    | 2,371  | 7,232  | 2,451  | 7,352  | 120 (+1.6%)   |
| 合計                | 5,351  | 16,185 | 5,496  | 16,112 | -73 (-0.5%)   |

\*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

| 営業利益              | 2011年度 |      | 2012年度 |      | 対前年度(9ヵ月)     |
|-------------------|--------|------|--------|------|---------------|
|                   | 3Q     | 9ヵ月  | 3Q     | 9ヵ月  |               |
| イメージング ソリューション    | -1     | -38  | -17    | -30  | 8 (赤字縮小)      |
| インフォメーション ソリューション | 161    | 498  | 172    | 415  | -83 (-16.6%)  |
| ドキュメント ソリューション    | 176    | 613  | 162    | 524  | -89 (-14.6%)  |
| 全社/連結調整           | -70    | -217 | -86    | -255 | -38           |
| 合計                | 266    | 856  | 231    | 654  | -202 (-23.6%) |

13

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

| 売上高       | 2011年度 |       | 2012年度 |       | 対前年度(9ヵ月)     |
|-----------|--------|-------|--------|-------|---------------|
|           | 3Q     | 9ヵ月   | 3Q     | 9ヵ月   |               |
| フォトイメージング | 546    | 1,557 | 537    | 1,496 | -61 (-3.9%)   |
| 電子映像      | 318    | 931   | 262    | 729   | -202 (-21.7%) |
| 合計        | 864    | 2,488 | 799    | 2,225 | -263 (-10.6%) |

\*セグメント間取引消去後

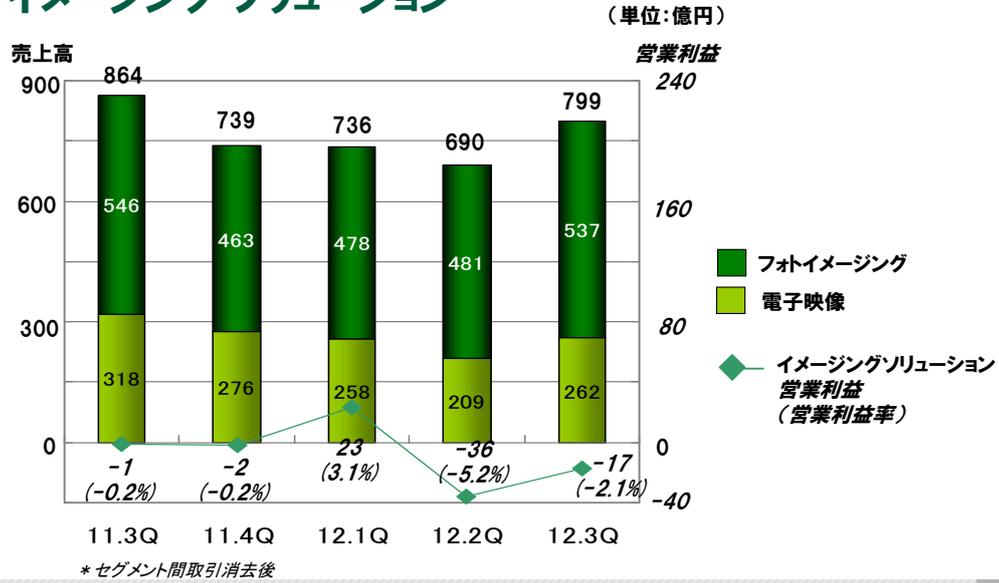
(単位:億円)

| 営業利益<br>[営業利益率]   | 2011年度        |                | 2012年度         |                | 対前年度(9ヵ月) |
|-------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|-----------|
|                   | 3Q            | 9ヵ月            | 3Q             | 9ヵ月            |           |
| イメージング<br>ソリューション | -1<br>[-0.2%] | -38<br>[-1.5%] | -17<br>[-2.1%] | -30<br>[-1.3%] | 8 (赤字縮小)  |

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション



<当スライドは配付資料です>

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

## ■ イメージング ソリューション

## フォトイメージング

- プリント材料製品が堅調に推移。世界各国で他社からの切替が進んだカラーペーパーの販売は好調。フォトブックを中心とした付加価値プリントの増加も、カラーペーパーの販売好調に寄与。
- 新製品を発売したインスタントカメラの販売がアジアを中心に好調に推移。

## 電子映像

- コンパクトデジタルカメラの需要減の影響を受け、売上が減少。
- 2012年11月に発売開始したレンズ交換式プレミアムカメラ「X-E1」など、高級機種「Xシリーズ」の販売は堅調に推移。

< 当スライドは配付資料です >

## 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

| 売上高                   | 2011年度 |       | 2012年度 |       | 対前年度(9ヵ月)     |
|-----------------------|--------|-------|--------|-------|---------------|
|                       | 3Q     | 9ヵ月   | 3Q     | 9ヵ月   |               |
| メディカルシステム<br>ライフサイエンス | 647    | 1,985 | 793    | 2,296 | 311 (+15.7%)  |
| グラフィックシステム            | 561    | 1,735 | 604    | 1,712 | -23 (-1.3%)   |
| フラットパネルディスプレイ材料       | 465    | 1,393 | 442    | 1,190 | -203 (-14.5%) |
| 記録メディア                | 119    | 353   | 103    | 295   | -58 (-16.4%)  |
| 産業機材/電子材料他            | 199    | 599   | 176    | 673   | 74 (+12.2%)   |
| 光学デバイス                | 125    | 400   | 128    | 369   | -31 (-7.8%)   |
| 合計                    | 2,116  | 6,465 | 2,246  | 6,535 | 70 (+1.1%)    |

\*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

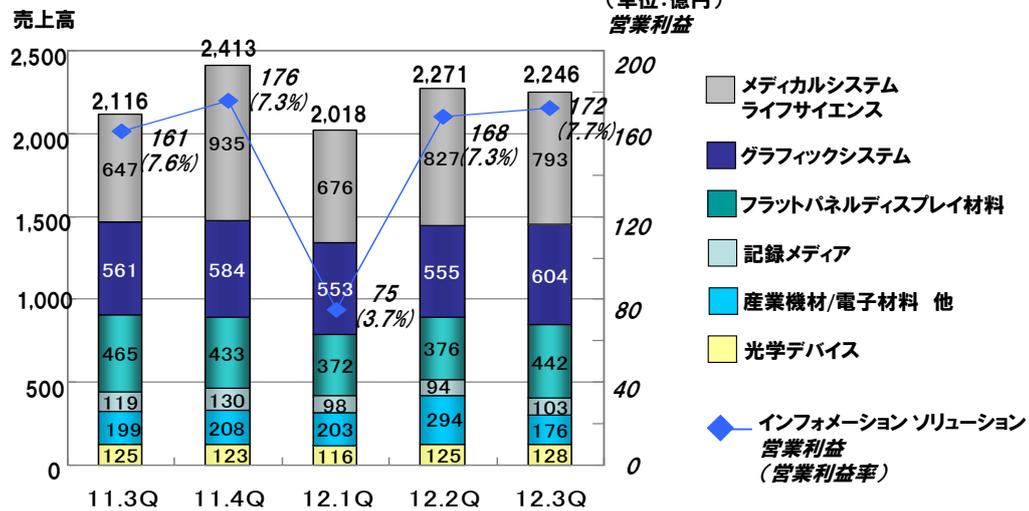
| 営業利益<br>[営業利益率]      | 2011年度        |               | 2012年度        |               | 対前年度(9ヵ月)    |
|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
|                      | 3Q            | 9ヵ月           | 3Q            | 9ヵ月           |              |
| インフォメーション<br>ソリューション | 161<br>[7.6%] | 498<br>[7.7%] | 172<br>[7.7%] | 415<br>[6.3%] | -83 (-16.6%) |

17

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ インフォメーション ソリューション



\*セグメント間取引消去後

<当スライドは配付資料です>

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

## ■ インフォメーション ソリューション

## メディカルシステム・ライフサイエンス

## 【メディカルシステム】

- ネットワークシステム分野では医療用画像情報システム(PACS)を中心に診療情報分野への事業拡大を進めており売上が増加。「SYNAPSE」は国内約1,800の医療施設に導入されトップシェアを維持。
- 小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズ、また高画質経鼻内視鏡の販売が好調に推移。
- 携帯型超音波診断装置メーカー「ソノサイト」の連結子会社化により売上が増加。

## 【医薬品】

- 富山化学は「ソシン」「オゼックス細粒」の販売が好調に推移し、売上が伸長。
- 富士フィルムファーマは、バイエル薬品より専売権を獲得した薬剤の販売により売上が増加。

## 【ライフサイエンス】

- 11月にジェリー60gを発売したことなどにより、9月にリニューアルした「アスタリフト」シリーズの販売が伸長。

< 当スライドは配付資料です >

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

## フラットパネルディスプレイ材料

- プレーンタック(60 $\mu$ および40 $\mu$ )が売上増加。またVA用フィルム・IPS用フィルムも販売が好調。
- IT機器需要の低迷によりWVフィルムの売上が減少。

## グラフィックシステム

- 刷版材料やデジタルプリンティング機器の販売が堅調に推移したものの、為替の円高影響などにより、売上が減少。

## 記録メディア

- 為替の円高影響や、業務用ビデオの総需減少等により、売上が減少。

## 産業機材/電子材料 他

- 工業用X線フィルムの販売が堅調に推移したものの、為替の円高などの影響を受け、売上が減少。
- ArF液浸レジスト、CMPスラリー、イメージセンサー用カラーモザイクなどの販売が好調に推移。

## 光学デバイス

- 携帯電話用カメラレンズの販売が減少したことなどにより、売上が減少。

< 当スライドは配付資料です >

## 3Q/9ヶ月累計 業績

## ■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

| 売上高         | 2011年度 |       | 2012年度 |       | 対前年度(9ヵ月)    |
|-------------|--------|-------|--------|-------|--------------|
|             | 3Q     | 9ヵ月   | 3Q     | 9ヵ月   |              |
| オフィスプロダクト   | 1,188  | 3,609 | 1,193  | 3,654 | 45 (+1.3%)   |
| オフィスプリンター   | 390    | 1,177 | 367    | 1,156 | -21 (-1.8%)  |
| プロダクションサービス | 354    | 1,126 | 342    | 1,056 | -70 (-6.1%)  |
| グローバルサービス   | 235    | 699   | 319    | 827   | 128 (+18.3%) |
| その他         | 204    | 621   | 230    | 659   | 38 (+6.2%)   |
| 合計          | 2,371  | 7,232 | 2,451  | 7,352 | 120 (+1.6%)  |

\*セグメント間取引消去後

\*2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

(単位:億円)

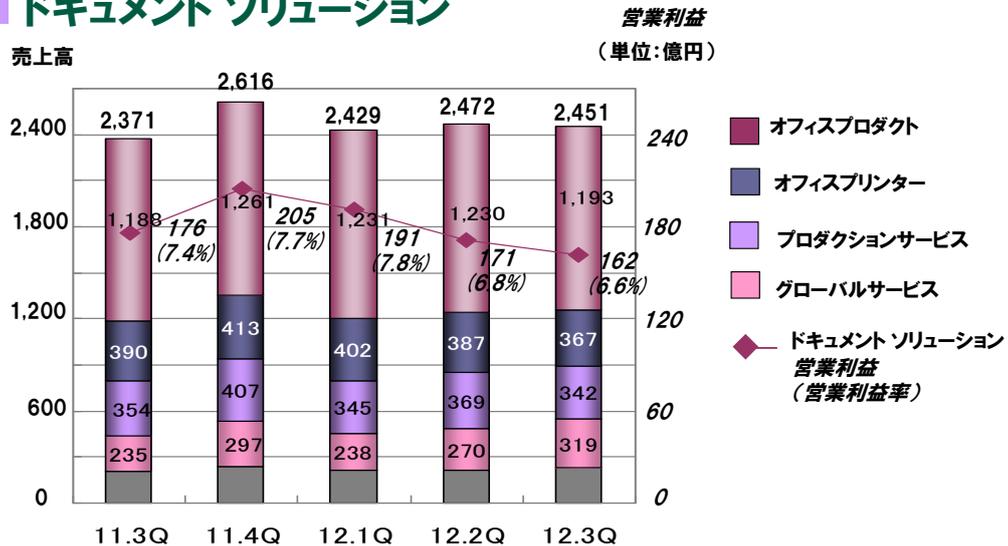
| 営業利益<br>[営業利益率]   | 2011年度        |               | 2012年度        |               | 対前年度(9ヵ月)    |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
|                   | 3Q            | 9ヵ月           | 3Q            | 9ヵ月           |              |
| ドキュメント<br>ソリューション | 176<br>[7.4%] | 613<br>[8.4%] | 162<br>[6.6%] | 524<br>[7.1%] | -89 (-14.6%) |

21

&lt; 当スライドは配付資料です &gt;

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ ドキュメントソリューション



\* セグメント間取引消去後  
 \* 2012年度よりオフィスプロダクト・プロダクションサービスにおいて商品分類の組み換えを行っており、2011年度の数字についてもリステートしております。

< 当スライドは配付資料です >

## 第3四半期(9ヶ月累計) セグメント別 業績

## ■ ドキュメント ソリューション

## オフィスプロダクト

- 国内は、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加、市場における稼働台数及びコピー枚数は増加したものの、コピー単価の下落により消耗品および保守サービス売上は減少。
- アジア・オセアニア地域は、6月発売の「DocuCentre S2010/S1810」が好調に推移し、モノクロ機の販売台数が大幅に増加し、カラー機も増加。

## オフィスプリンター

- アジア・オセアニア地域は、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が増加。

## プロダクションサービス

- アジア・オセアニア地域において、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売好調により販売台数が増加。

## グローバルサービス

- 国内、アジア・中国地域ともに2桁成長の増収。

< 当スライドは配付資料です >

## 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

|      | 2011年度 9ヵ月 |        | 2012年度 9ヵ月 |        | 対前年度         |
|------|------------|--------|------------|--------|--------------|
|      | 構成比 (%)    |        | 構成比 (%)    |        |              |
| 日本   | 45.1%      | 7,297  | 45.0%      | 7,256  | -41 (-0.6%)  |
| 米州   | 17.1%      | 2,767  | 18.0%      | 2,895  | 128 (+4.6%)  |
| 欧州   | 12.3%      | 1,999  | 11.5%      | 1,860  | -139 (-6.9%) |
| 内、中国 | 9.4%       | 1,515  | 9.2%       | 1,475  | -40 (-2.6%)  |
| アジア他 | 25.5%      | 4,122  | 25.5%      | 4,101  | -21 (-0.5%)  |
| 海外   | 54.9%      | 8,888  | 55.0%      | 8,856  | -32 (-0.4%)  |
| 合計   | 100.0%     | 16,185 | 100.0%     | 16,112 | -73 (-0.5%)  |

24

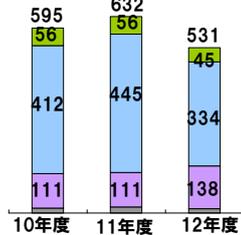
&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## 設備投資、減価償却費

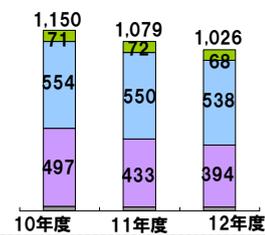
- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

設備投資(9ヶ月)



減価償却費(9ヶ月)



|                | 2010年度     |              |              | 2011年度     |              |              | 2012年度     |              |              |
|----------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|
|                | 3Q         | 9ヶ月          | 年度           | 3Q         | 9ヶ月          | 年度           | 3Q         | 9ヶ月          | 年度<br>(予想)   |
| イメージング         | 16         | 56           | 81           | 23         | 56           | 92           | 18         | 45           | -            |
| インフォメーション      | 179        | 412          | 618          | 111        | 445          | 598          | 79         | 334          | -            |
| ドキュメント         | 29         | 111          | 195          | 36         | 111          | 193          | 55         | 138          | -            |
| コーポレート         | 7          | 16           | 5            | 6          | 20           | 26           | 5          | 14           | -            |
| <b>設備投資 ※</b>  | <b>231</b> | <b>595</b>   | <b>899</b>   | <b>176</b> | <b>632</b>   | <b>909</b>   | <b>157</b> | <b>531</b>   | <b>850</b>   |
| イメージング         | 22         | 71           | 101          | 25         | 72           | 108          | 28         | 68           | -            |
| インフォメーション      | 188        | 554          | 774          | 188        | 550          | 763          | 177        | 538          | -            |
| ドキュメント         | 163        | 497          | 658          | 154        | 433          | 575          | 141        | 394          | -            |
| コーポレート         | 10         | 28           | 38           | 8          | 24           | 32           | 11         | 26           | -            |
| <b>減価償却費</b>   | <b>383</b> | <b>1,150</b> | <b>1,571</b> | <b>375</b> | <b>1,079</b> | <b>1,478</b> | <b>357</b> | <b>1,026</b> | <b>1,450</b> |
| 有形固定資産の減価償却費 ※ | 259        | 770          | 1,066        | 243        | 695          | 966          | 235        | 665          | 950          |

※ ドキュメント ソリューション部門のレンタル機器を除く。

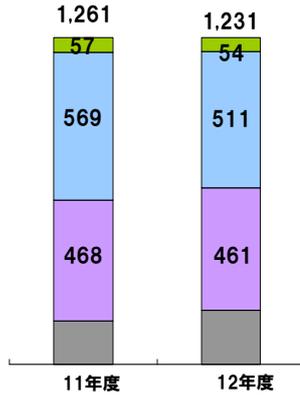
< 当スライドは配付資料です >

## 研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

研究開発費(9ヶ月)



|                   | 2011年度       |              |              | 2012年度       |              |              |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|                   | 3Q           | 9ヶ月          | 年度           | 3Q           | 9ヶ月          | 年度(予想)       |
| イメージング            | 23           | 57           | 72           | 13           | 54           | -            |
| インフォメーション         | 210          | 569          | 769          | 170          | 511          | -            |
| ドキュメント            | 139          | 468          | 641          | 161          | 461          | -            |
| コーポレート            | 56           | 167          | 252          | 69           | 205          | -            |
| <b>研究開発費</b>      | <b>428</b>   | <b>1,261</b> | <b>1,734</b> | <b>413</b>   | <b>1,231</b> | <b>1,750</b> |
| <売上高比>            | 8.0%         | 7.8%         | 7.9%         | 7.5%         | 7.6%         | 7.9%         |
| <b>販売費及び一般管理費</b> | <b>1,414</b> | <b>4,269</b> | <b>5,814</b> | <b>1,452</b> | <b>4,347</b> | -            |
| <売上高比>            | 26.4%        | 26.4%        | 26.5%        | 26.4%        | 27.0%        | -            |

<当スライドは配付資料です>

## 為替、為替感応度、人員

### 為替

(単位:円)

|     | 2011年度 |     |     |     |     |     | 2012年度 |    |     |     |            |
|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|----|-----|-----|------------|
|     | 1Q     | 2Q  | 3Q  | 9ヶ月 | 4Q  | 年度  | 1Q     | 2Q | 3Q  | 9ヶ月 | 年度<br>(予想) |
| 米ドル | 82     | 78  | 77  | 79  | 79  | 79  | 80     | 79 | 81  | 80  | 82         |
| ユーロ | 117    | 110 | 104 | 110 | 104 | 109 | 103    | 98 | 105 | 102 | 106        |

\*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

### 人員

(単位:人)

|    | 2011.12末 | 2012.3末 | 2012.6末 | 2012.9末 | 2012.12末 |
|----|----------|---------|---------|---------|----------|
| 連結 | 81,316   | 81,691  | 80,155  | 79,845  | 81,542   |

<当スライドは配付資料です>

## パイプライン

| 開発番号     | 薬効                   | 地域    | 開発段階 |     |      |       |    | 剤形 |
|----------|----------------------|-------|------|-----|------|-------|----|----|
|          |                      |       | 前臨床  | P I | P II | P III | 申請 |    |
| T-705    | 抗ウイルス剤               | 日本    |      |     |      |       |    | 経口 |
|          |                      | 米国    |      |     |      |       |    |    |
| T-3811   | ニューキノロン系合成抗菌剤        | 中国    |      |     |      |       |    | 経口 |
| T-2307   | 抗真菌剤                 | 米国    |      |     |      |       |    | 注射 |
| T-817MA  | アルツハイマー型認知症治療剤       | 米国    |      |     |      |       |    | 経口 |
|          |                      | 日本    |      |     |      |       |    |    |
| ITK-1    | 抗癌剤(前立腺癌)            | 日本    |      |     |      |       |    | 注射 |
| FF-10501 | 抗癌剤(血液癌)             | 日/米/欧 |      |     |      |       |    | 経口 |
| FF-21101 | 抗癌剤(難治性固形癌)(Armed抗体) | 米/欧/日 |      |     |      |       |    | 注射 |
| FF-10502 | 抗癌剤(難治性固形癌)          | 米/欧/日 |      |     |      |       |    | 注射 |

T-3811:国内はジェニナック錠として上市済み

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

**FUJIFILM**

**2012年度 第3四半期 決算説明会**

## **2012年度 通期業績予想と施策**

代表取締役社長・COO  
**中嶋 成博**

2013年1月29日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

中嶋でございます。

続きまして、2012年度通期業績予想についてご説明します。

## 2012年度 連結業績予想 (2013年1月29日時点)

(単位:億円)

|                          | 2011年度           | 2012年度<br>(前回予想) | 2012年度<br>(修正予想) | 対前回予想          | 対前年度          |
|--------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|---------------|
| 売上高                      | 21,953<br>100.0% | 22,100<br>100.0% | 22,100<br>100.0% | 0<br>-         | 147<br>+0.7%  |
| 営業利益                     | 1,129<br>5.1%    | 1,250<br>5.7%    | 1,100<br>5.0%    | -150<br>-12.0% | -29<br>-2.6%  |
| 税金等調整前<br>当期純利益          | 892<br>4.1%      | 1,050<br>4.8%    | 1,100<br>5.0%    | 50<br>+4.8%    | 208<br>+23.3% |
| 当社株主帰属<br>当期純利益          | 438<br>2.0%      | 450<br>2.0%      | 500<br>2.3%      | 50<br>+11.1%   | 62<br>+14.2%  |
| 1株当たり<br>当社株主帰属<br>当期純利益 | 90.84円           | 93.42円           | 103.80円          | 10.38円         | 12.96円        |
| 為替 :米ドル<br>:ユーロ          | 79円<br>109円      | 79円<br>100円      | 82円<br>106円      | 3円安<br>6円安     | 3円安<br>3円高    |

\*2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円 4Q ドル円:87円、ユーロ円116円、銀価格 89,000円/kg

30

為替は円安方向に向かっておりますが、主要事業の環境が想定以上に厳しい状況が続いております。

この厳しい状況を踏まえ、2012年度の業績予想を、売上高については事業環境の悪化を為替円安影響でカバーできることから、前回から変更せず前年比0.7%増の2兆2,100億円、営業利益については、事業環境の悪化を為替円安や経費削減等ではカバーすることが難しく、前年比2.6%減の1,100億円に下方修正いたします。

税金等調整前当期純利益については、為替が円安方向に向かい、為替差損益は益が出ているため、対前年23.3%増の1,100億円に上方修正となります。

当社株主帰属当期純利益も、前回予想から上方修正し、前年比14.2%増の500億円を予想しております。

なお、第4四半期の為替レートは、ドル円を87円、ユーロ円を116円で想定しております。

## 2012年度 連結業績予想 見直しのポイント

### ■ 電子映像(デジタルカメラ)

- ・スマートフォンの普及や景気低迷により、コンパクトデジタルカメラの総需減が想定以上に進行。(10月～12月合計で対前年▲33%、対前々年▲45%)
  - ・総需が依然堅調に推移すると想定していたBRICs・新興国でも総需下落が開始。特に中国での総需下落が著しく、当社販売も減少。
  - ・Xシリーズ、レンズ交換式システムのラインアップ強化により上位機種比率は上昇しているものの、コンパクトの販売減の影響をカバーしきれない状況。
- ⇒販売減に対して固定費を削減したが、限界利益の未達をカバーするに至らず、損益が悪化。

31

続きまして、今回、通期業績予想を見直すことにしました背景についてご説明します。

主な理由となるのは、電子映像事業とドキュメント事業です。

まず、デジタルカメラの事業環境は、スマートフォンの普及や景気低迷により、コンパクトデジタルカメラの総需減が想定以上に進行しております。

また、総需が依然堅調に推移すると想定していたBRICs・新興国でも総需下落が始まり、特に中国での総需下落が著しく、当社販売も減少しました。

このような影響をカバーすべく、Xシリーズやレンズ交換式システムのラインアップ強化と拡販に努めており、上位機種比率は上昇しているものの、コンパクトの販売減の影響をカバーしきれない状況となっております。

販売減に対して固定費を削減しましたが、売上減少に伴う限界利益の未達をカバーするに至らず、損益が悪化しました。

## 2012年度 連結業績予想 見直しのポイント

### ■ドキュメント

- ・米国ゼロックス社向け輸出の大幅減。
  - ・輸出依存度の高い豪州・韓国での複合機・大型機の販売減速、中国での大型機販売が想定を下回って推移。
  - ・国内においても機器の販売価格が想定を上回って下落。
  - ・各チャネルでの販売が想定を下回り、工場における操業度が低下しコストアップの要因に。更に一部の部材メーカーの火災で部品供給が滞った影響により、製品供給を担保するための追加コストが発生。
- ⇒上記の環境悪化影響により営業利益が減少。

営業利益ベースでは下方修正となるものの  
当期純利益では上方修正

32

ドキュメント事業は、

欧州景気悪化の影響が継続しており、米国ゼロックス向け輸出が大幅に減少しました。さらに、欧州の景気影響を受けやすいといわれている輸出依存度の高いオーストラリア・韓国での複合機・大型機の販売減速、また中国でも大型機の販売が想定を下回って推移しました。

国内においても機器の販売価格の下落が、想定を上回っています。

加えて、各チャネルでの販売が想定を下回ったため、工場における操業度が低下しコストアップの要因となりました。さらに1月には一部の部材メーカーの火災で部品供給が滞った影響により、製品供給を担保するための追加コストが発生する見込みです。

これらの環境悪化影響により、営業利益が減少いたしました。

以上、ご説明した状況から営業利益見通しについては下方修正いたしました。当期純利益は冒頭にお伝えしたような要因から、上方修正しております。

## 4Q以降 来期に向けた施策と見通し

### ■電子映像(デジタルカメラ) ⇒大幅損益改善

- ・高価格機種へのシフト
  - Xシリーズ、レンズ交換式システムの更なるラインアップ拡大とブランド力強化により、販売を大幅に増加。
  - コンパクトデジタルカメラも、機種構成を大幅に見直し、ロングズームブリッジタイプ、防水タイプなど、差別化商品に集中。
- ・固定費削減
  - 開発・製造・販売のあらゆる固定費をゼロベースで見直し、大幅削減を実施。

### ■ドキュメント ⇒営業利益率の向上

- ・グローバルサービス、プロダクションサービス及びソリューションサービスの更なる強化と事業拡大
  - 顧客の課題解決を通じた日本国内のサービス事業拡大。
  - 豪州サービスプロバイダー買収をトリガーとしたアジア・オセアニア地域でのサービス事業の拡大。
- ・付加価値の訴求による機器販売の更なる拡大と収益性向上
- ・一層のコスト低減・経費削減の推進による収益性改善

33

続いて4Q以降、来期に向けた施策と見通しをご説明します。

デジタルカメラは、Xシリーズ、レンズ交換式システムのさらなるラインアップ拡大とブランド力強化により、販売を大幅に増加します。コンパクトデジタルカメラも機種構成を大幅に見直し、ロングズームブリッジタイプ、防水タイプなどの差別化商品に集中します。

また開発・製造・販売のあらゆる固定費をゼロベースで見直し、大幅削減を実施します。

これらの施策を迅速に推進し、大幅に損益を改善していきます。

またドキュメント事業は、損益が改善し成長軌道にあるグローバルサービスや、プロダクションサービス及び一般オフィス向けのソリューションサービスの強化と拡大に取り組めます。国内では顧客の課題解決を通じたサービス事業を拡大します。アジア・オセアニア地域では、既の実施したオーストラリア・サルマット社のビジネスプロセスアウトソーシング事業買収をトリガーとしたサービス事業の拡大を目指します。

機器販売においては、付加価値を訴求することにより更なる販売拡大と収益性向上をはかります。

同時に一層のコスト低減や経費削減を推進することにより、営業利益率を上げていきます。

## 4Q以降 来期に向けた施策と見通し

### ■フラットパネルディスプレイ材料 ⇒安定したキャッシュカウビジネスへ

- ・VA/IPS用フィルム、薄手プレーンタック(60μ・40μ)および中小型向け超薄手(25μ)フィルムの拡販
- ・減価償却費の減少

### ■メディカル・ライフサイエンス ⇒将来の収益柱として確実な成長

- ・メディカルシステムの最大需要期(4Q)での拡販と、IT・内視鏡・超音波を中心とした成長
- ・医薬品事業の増益、来期黒字化

**販売・マーケティング力アップ、生産コスト競争力のアップ、  
間接部門の付加価値アップ、R&Dの効率化を軸とした  
現場力向上の推進**

**既存事業の安定維持と成長領域の確実な成長  
来期は大幅な増収・増益を実現し、再び成長のフェーズへ**

34

フラットパネルディスプレイ材料は、施策としているVA/IPS用フィルムや、薄手プレーンタック、およびスマートフォンやタブレットPCなど中小型向けの25ミクロン超薄手フィルムの拡販を着実に進めています。25ミクロンのプレーンタックは、1月から量産開始しております。また来期以降は減価償却費が減少するため、より安定したキャッシュカウビジネスとして維持します。

メディカル・ライフサイエンスは、将来の収益柱として確実に成長しており、このトレンドは来期以降も継続します。

メディカルシステムにとって最大の需要期である第4四半期での拡販、またIT・内視鏡・超音波の拡販を中心として来期もさらに成長していきます。また医薬品事業もトップラインの伸長などにより来期は黒字を目指しており、大幅な収益改善が見込めます。

このように、既存事業の収益性を安定維持させつつ、メディカル・ライフサイエンスをはじめとした成長領域を確実に伸ばすことで、来期は大幅な増収・増益を実現し、再び成長軌道に乗せたいと考えております。

- この成長を実現するために、
- 販売・マーケティング力アップ
  - 生産コスト競争力アップ
  - 間接部門の付加価値生産性アップ
  - R&Dの効率化

の4つを軸とした現場力向上のための施策も、グループ全体で取り組んでいます。世界が構造的な変化を続け、我々のビジネス環境も大きく変化する今、目指す収益性を実現するためには、これまでの仕事のやり方を抜本的に変え、既存の枠にとらわれない考え方やアプローチが必要です。

私自身も社員と対話する機会を頻繁に持ち働きかけていますが、社員ひとりひとりが、それぞれの現場で強い意思をもって課題達成に取り組み、この成長を実現させます。

# FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
健康増進、環境保持に貢献し、  
人々の生活の質のさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>

35

以上、通期業績見通しと施策についてご説明いたしました。

ご静聴ありがとうございました。